

稚内出身 藤田 征樹 選手

東京2020パラリンピック お疲れさまでした！



写真提供 藤田選手

8月24日から9月5日までの期間で開催された「東京2020パラリンピック」の自転車競技日本代表として、本市出身の藤田征樹選手が出場しました。

4大会連続でのメダル獲得とはなりませんでしたが、「男子ロードレース(C1-3)」では、6位入賞を果たしました。

戦績

種目	タイム	順位
男子3kmパーシュート(C3)	3分38.366秒	8位 / 8人中
男子1kmタイムトライアル(C1-3)	1分12.306秒	15位 / 22人中
男子タイムトライアル(C3) (24km)	36分47.63秒	7位 / 14人中
男子ロードレース(C1-3)	2時間11分06秒 (3～8位は同タイム)	6位 / 36人中

後輩にメッセージをいただきました！

10月6日(水)、7日(木)に、藤田選手の出身校である稚内港小学校、稚内南中学校で報告会を開催しました。

一生懸命頑張りましたが、今回はメダルを取ることができませんでした。それでも、頑張ったことは無駄ではなく、自分のためになることだと思っています。

やりたいことに向かっている途中で、少しうまくいかないことがあっても、それは必ず自分の力になります。

皆さんがコロナ禍で大変な思いをしている中、声援を送ってくれたことは力になり、とても嬉しかったです。



自転車に乗って登場！(港小)



質問にも気さくに回答(南中)

地域に密着して活動！ 地域おこし協力隊 樋口 桂衣さん

10月1日、稚内に2人目の「地域おこし協力隊員」が着任しました。このたび着任した樋口さんは、勇知地区を拠点に、地域の皆さんの生活支援や産業支援のほか、地域の魅力を発信する活動に取り組みます。



プロフィールを教えてください

札幌出身です。今年の5月まで長野県に住んでいましたが、新型コロナウイルスの影響で思うように帰省できなくなり、「やっぱり北海道で暮らしたい！」と改めて感じて、帰ってきました。

小さな頃から、登山や川遊びなどが好きなので稚内でも、野外活動ができそうな場所をたくさん開拓していきたいです。

稚内に来たことはありますか？初めて来たときの印象は？

これまで何度か遊びに来たことがあります。初めて来たのは、10年ほど前の高校生の時で、雪が深かったので、冬休みか春休みだったと思います。冬の海の向こうに見えた利尻富士が、本当に格好良くて印象的でした。

稚内で「地域おこし協力隊員」になろうと思ったきっかけは？

ずっと「札幌ではない、北海道の町で暮らしたい」と思っていました。長野県から北海道に帰ってきたタイミングで、稚内市で隊員を募集していることを知りました。思い出のあるまちだったことと、タイミングの良さにもご縁を感じて、応募しました。

上勇知町内会 南会長からのお話

若い方が地域に来てくれると、元気が出ますね。まずは地域の皆さんの顔を覚えてもらって、この地域だけでなく、稚内や宗谷管内のことも幅広く知ったうえで、地域の魅力を発信してほしいです。

着任して約1か月ですが、今はどんな活動をしていますか？

勇知保育所で野外活動のお手伝いをしつつ、今後どんなことに取り組むか模索しているところです。地域のことを少しずつ知るためにも、地域の皆さんのところにご挨拶に伺っています。

実際に住んでみて、稚内での生活はどのようなですか？

札幌よりも寒くなるのが早く、覚悟していたはずなのに驚きました。ご近所の皆さんには、休みの日にもお呼ばれして、かぼちゃ団子のおしるこをごちそうになったり、勇知の昔のお話を聞かせていただいたりと、本当にあたたかく迎えていただいて、楽しく過ごしています。

樋口さんが思う「稚内の魅力」は何ですか？

どこに行っても景色がいいなと思います。牛が草を食む牧草地、遠目に見える利尻富士、周氷河地形独特のもこもことした丘陵など、ドライブがとても楽しいです。

これからやってみたいこと、活動への意気込みをお願いします

勇知の皆さんや市街に住んでいる皆さん、遠方から来る方も集まりやすい「場所づくり」ができればと思っています。南極観測隊と稚内のつながりも面白いなと思っていて、南極にゆかりのある場所にも行ってみたいです。



10月19日(火)には、「てまりの会」の例会に初参加！全身のバランスの改善をめざす「ふまねっと運動」に一緒に取り組んだり、前日には昼食のカレーの仕込みをしたそうで、すぐに皆さんと打ち解けていました。

樋口さんの任期は最大3年ですが、「そのあともずっとこの地域に住みたい！」という嬉しい一言も。今後のご活躍に期待しています。

